

催し物のご案内 (2000年1月～2月)

神奈川の自然を歩く(9)

野外観察「酒匂川でカワウを観よう」

[小田原市飯泉・酒匂川]

日時:1月15日(土) 10:00～15:00
 内容:カワウの生態観察と川の環境について学びます
 対象:一般 20人
 申込:12月14日(火)～1月4日(火)

学校週5日制対応講座

野外観察「露頭ウォッチング」[山北町谷峨]

日時:1月23日(日) 10:00～15:00
 内容:地形の観察、地層と化石の観察
 対象:小・中学生とその保護者 40人
 申込:12月21日(火)～1月11日(火)

博物館ボランティア体験講座

室内実習「学芸員の仕事」[博物館]

日時:1月27日(木)・28日(金)・2月1日(火)・2日(水)・4日(金)
 全5回 10:00～15:00
 内容:資料整理などをつづじて博物館学芸員の仕事を希望分野別に体験します。
 分野:哺乳類・古生物・岩石・リモートセンシング・ミュージアムライブラリー・昆虫・魚・貝類・植物・コケ
 対象:一般 分野ごとに各5人
 申込:12月28日(火)～1月18日(火)
 ※申込時に希望分野をご記入下さい

研究テクニック講座

室内実習「ダイバーのための魚類学入門」

[博物館]
 日時:2月6日(日)・13日(日)
 全2回 9:00～16:00
 内容:魚の基礎知識を、標本の観察や撮影をとおして学びます
 対象:18才以上 10人
 申込:1月4日(火)～1月25日(火)

神奈川の自然を歩く(10)

野外観察「入生田で冬芽を観よう」

[小田原市入生田周辺]
 日時:2月16日(水) 10:00～15:00
 内容:冬芽や葉を落とした樹木の見分け方を学びます
 対象:一般 30人
 申込:1月11日(火)～2月1日(火)

研究テクニック講座

室内実習「生き物のはかり方」[博物館]

日時:2月19日(土)・20日(日)
 全2回 10:00～15:00
 内容:貝殻を比べて^{すがたかたち}姿形の変異を調べます
 対象:一般 20人
 申込:1月11日(火)～2月1日(火)

神奈川の自然を歩く(11)

野外観察「山北で丹沢の生い立ちを観よう」

[山北町山市場・中川]
 日時:3月11日(土) 10:00～15:00
 内容:地形観察と岩石採集により丹沢の生い立ちを学びます
 対象:一般 20人
 申込:2月8日(火)～2月29日(火)

博物館スクール

室内実習と野外観察「動物の行動観察」

[博物館と動物園]
 日時:3月28日(火)・29日(水)
 全2回 10:00～15:00
 内容:動物の行動観察の方法を学んだ後、実際の観察にチャレンジします
 対象:小・中学生 20人
 申込:2月22日(火)～3月14日(火)

申込方法

往復はがきに、催物名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、博物館宛てにお送りください。
 ご家族など数人でご希望の場合は連名でお申し込みになれます。特に記載の無いものは参加無料です。応募多数の場合は抽選となります。

ライブラリー通信

さこ 迫

前号では谷戸・谷津という地名が関東地方に多く残されている事を記しました。これらの地名語はかつては余り知られていませんでしたが、ナチュラルリストたちが自然保護や保全を論じる著作のなかで用いるようになってから次第に一般にも広く知られるようになってきました。この辺の事情は以前取り上げた里山の語と似ていますが、里山が比較的近年の造語であるのに対して谷戸・谷津は歴史性をもっています。身近な自然である里山が見直され、保全の動きの広がりとともにその重要な構成要素である谷戸・谷津もクローズアップされてきたという事でしょう。

この谷戸・谷津と似たような地形で迫(さこ)と呼ばれる地名があります。迫とは山の尾根と尾根の間、谷あいの行き止まりの場所のことで、そこに開かれた田は迫田(さこた)と呼ばれてきました。前号でも引いた『新日本地名索引』(アボック社出版局)によれば迫の付く地名は岡山県以西の中国地方と、九州地方に数多く残されています。つまり関東地方で谷戸・谷津と呼んでいるものにはほぼ相当する地形を岡山県以西の中国地方と、九州地方では迫と呼び習わしてきたというわけです。

ところで、冒頭にも記したように谷戸・谷津という地名語が里山の保全の必要性を論じる際にしばしば取り上げられるのに対して、迫という地名語はほとんど見かけません。どこかで使われていないものかと自然史関係の図書・雑誌や中国・九州地方の博物館刊行物等を丹念に調べてみましたが残念ながら発見できませんでした。

全国的には自然保護・保全の意識の昂揚でなかで里山の語が定着し、関東地方にあっては自然を守り残していこうという思いがその地方に残された谷戸・谷津という地名語をはからずも浮かび上がらせてきたように、迫という地名語も自然を守る上でのキーワードとして今後中国・九州地方において浮上してくるかもしれないと期待しているところです。

(司書 内田 潔)

企画展のご案内

「カラー魚拓の世界」

期間:1999年12月11日(土)
 ～1月16日(日)

会場:博物館特別展示室 無料

魚拓家の宮本紅魚氏が長年にわたって作製してきたカラー魚拓や、魚拓で作った絵本などを紹介します。

